

座談会



(総合文化会館会議室)

市長と ふれあいトーク ～中学生の子を持つ親たちと

市は、情報公開を進めるとともに、市民の皆さんの意見を聴き、市政運営を行っていくこととしていきます。その一つとして、テーマを定めて各地域から集まっていたいただき、市長と懇談する「市長とふれあいトーク」を行います。

今月号では、その第1回目として先月行った「子育て座談会」中学生の子を持つ親たちとの様子をお伝えします。

市内各中学校のPTAに参加を呼びかけ、出席された皆さんからは、日ごろの子育てにかかわるいろいろな思いを語っていただきました。



野口さん



常浦さん



小見山さん



小山さん



黒川さん

市長 これまでも地域に出向き、その地域の皆さんのご意見をお伺いすることはありましたが、テーマを決めて各地域から集まっていたいただき、ご意見を伺う座談会は初めてです。今後もしばしばさまざまなテーマで座談会を開き、皆さんと意見のキャッチボールをさせていただきたいと考えています。

さて、今回はテーマを「子育て」としました。「子育て」といっても幅広いですが、個人的には18歳までと思っています。私はPTA活動を離れて3～4年が経ちますので、皆さんが活動して日ごろ思われていることを遠慮なくお話しください。

中学生くらいになると、いじめや暴力などが問題になってきますが！。

市長 うちの娘が中学生の時にいじめはあったように聞いていますが、子どもには支えあう気持ちを持たせることが必要なのは。テレビゲームや携帯電話の普及などによって、子どもたちの世界に仮想の世界が広がってきたことがいじめや暴力などにも影響しているのでしょうか。

常浦 自身は県外出身で、荒れた中学で過ごしました。荒れていたとはいえ、当時はいじめがあっても、子どもたち同士で支えあうことができていたと思います。今の子どもたちは、いじめなどで仲良しグループからいったん外れると、クラスでも孤立化させられるようです。

木口 いじめが起こった場合など、クラスが複数あれば分けることもできますが、高粱中学校

以外はほとんど1学年1クラスで、成羽中学校も全校で150人ほど。田舎の小規模校では、優しい心でみんなと接することができるといったよい面もあると思います。これから競争社会に出て行く上では不安もあります。

西井 川上地域の場合は、幼稚園、小学校、中学校とずっと一緒に、学年のカラーが決まっています。何も問題が起らなかったときには困りますが、何かあったときには困ります。保護者は、学校や教育委員会に対して攻撃的になるつもりはありません。学校が情報をより早く出してくれれば、保護者も対処のしようがあると思います。

芳賀 成羽中学校では、地区懇談会を開催しています。地域ご



近藤市長

〔出席者〕
 野口浩一郎さん(落合町福地)
 常浦美和子さん(下町)
 小見山佐美恵さん(落合町阿部)
 小山知志さん(津川町八川)
 黒川倫道さん(宇治町穴田)
 嶋田琴恵さん(有漢町有漢)
 木口隆司さん(成羽町成羽)
 芳賀宣子さん(成羽町成羽)
 西井辰夫さん(川上町胤数)
 江草和子さん(備中町平川)



嶋田さん



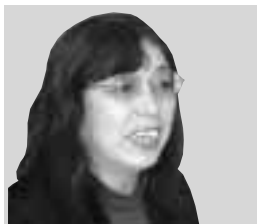
木口さん



芳賀さん



西井さん



江草さん

□
 との保護者と学校の先生とのコミュニケーションを図れる場なので、ここでの情報交換がいじめ問題等の早期発見、早期解決の糸口となっています。子どもたちを守るコミュニケーションづくりが大切だと思います。
黒川 愛されていない子どもや認められていない子どもが、いじめをするように思います。親としては、いじめをしない子どもを育てる必要があるのではないのでしょうか。

今の中学生を取り巻く環境・生活について

野口 コンビニなどで買い食いするなど食生活も不規則になりがちなどと耳にしますが、わが家からコンビニまでは自転車で15〜20分ほどかかり、そうしたこともなく生活は不規則にはなっていないと思っています。また、わが家では夕食は必ず家族揃って食べるようにしています。

市長 食事の話が出ましたが、朝食を食べずに学校へ行っている子どももいると聞きますが、どうですか。
黒川 食べる内容も見直さなければならぬと感じています。朝からインスタントラーメンやドーナツ、ハンバーガー、菓子パン、また夏にはアイスクリームといった家庭もあると聞きます。「これが朝食」という親の意識を変える必要もあるのではないのでしょうか。
市長 朝食といっても今はいろいろとあるのでですね。朝食のメニューは親の経験が影響しているのでしょうか。また、夜型生活になってきているのとも聞きますが、夕食はどうでしょうか。